

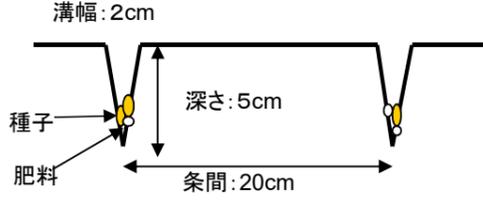
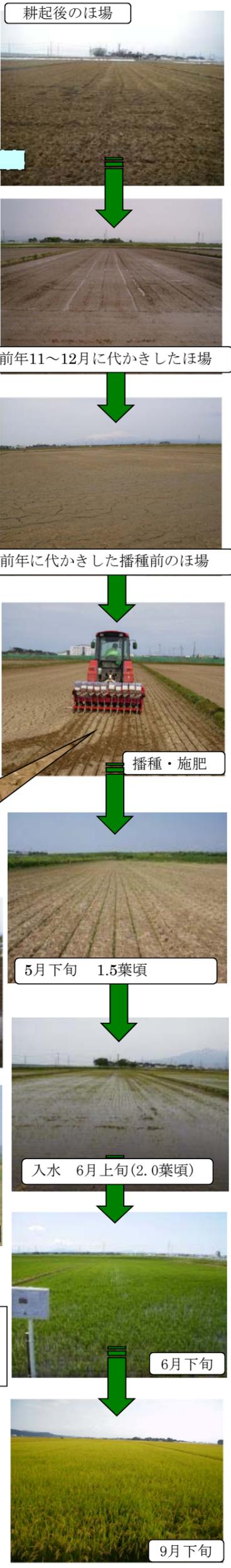
乾田V溝直播栽培ごよみ

(品種: はえぬき、ひとめぼれ)

作成: JA庄内みどり

協力: 酒田農業技術普及課

時期	作業名	ポイント
10月	排水対策 明渠 排水溝 弾丸暗渠 (サブソイラー)	<p>★ほ場の選定: 漏生苗が発生しやすいので、乾田V溝直播栽培を行うほ場は、前作と同じ品種で行う。</p> <p>★排水対策は十分にを行う。排水不良ほ場では出芽不良となる。</p>
11月	土づくり	<p>★排水対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ほ場の周囲に明渠 ◎サブソイラーで、暗渠の排水効果を高める。 ◎団地化 <p>★リン酸・カリの補給</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎専用肥料は窒素のみのため、リン酸・カリが不足している場合には耕起前に施用する。 【目安】 ようりん・ケイカル 各30kg/10a
12月	耕起	<p>★耕起: 移植栽培と同様に行う。前作の残さをチェックし、多い場合には、「代かき」時に稲わらなどの残さが浮き上がらないよう注意。</p> <p>(★冬季に代かきをしない場合は鎮圧)</p>
12月	代かき	<p>★代かき: 出来るだけ浅水で、稲わらがほ場の隅に吹き寄せられないように注意する。また、トラクターのわだちが残らないように丁寧に行う。(塩化カリ20kg/10aを入水直前に施用することにより、代かき時の「泥水」軽減を図ることが出来る。)</p> <p>★代かきしない場合: 冬季の耕起後(又は春先)に駆動式鎮圧機で鎮圧する。</p>
3月	(鎮圧)	<p>★漏水対策...除草剤の効果や隣接ほ場への影響を考慮し、必ず行う。◎畦畔補修(畦塗り)又は◎畦畔ビニール(春・融雪直後)</p>
3月	種子消毒	<p>★種子の準備: 種子消毒は、チウラムを含む薬剤(「ベンレートT水和剤20」(湿粉衣)又は「キヒゲンR-2フロアブル」(塗沫処理)等)で行う。(浸種・催芽は不要) ※カルパーコーティングは不要!</p>
4月	播種・施肥(同時) (4月上~下旬)	<p>★播種: 4月上旬~4月末に、天候、ほ場の乾燥状態(かかと立ちで足跡がつかない程度)を見ながら播種する。 ポイント: 播種・施肥は重ならないように注意する!</p> <p>★播種量</p> <ul style="list-style-type: none"> ①4月上旬~下旬播種: 7~8kg/10a ⇒1~2年取り組んで、苗立ちが十分確保できる場合は播種量を1~2kg/10a程度減らす。 ②5月上旬: 6kg/10a
4月	肥料	<p>★肥料: 専用一発肥料(セラコートR V溝直播(41-0-0)) ※リン酸・カリは冬季の耕起前に補給しておく。 ★施用量: はえぬき 20kg/10a (N:P:K=8.2:0:0) ひとめぼれ 15kg/10a (N:P:K=6.2:0:0)</p>
5月	除草剤散布 (1回目: 4月25~5月5日頃) ※周辺ほ場移植前	<p>★除草剤(1回目): イネの出芽前に“直播水稻”に登録のあるグリホサート剤(「ラウンドアップマックスロード」又は「草枯らしMIC」等)を散布する。※飼料用米の場合は、「草枯らしMIC」を使用する。 周辺作物へ絶対に飛散させない!</p> <p>★無覆土状態で極端な乾燥状態が続く場合は、一時的に灌水(フラッシング)を行う。</p>
5月	灌水(フラッシング)	<p>★除草剤(2回目): イネ1.5葉期の入水前にシハロホップブチル(ペンタゾン) 剤(「クリンチャーバスME液剤」又は「クリンチャーEW」)を散布。 重要!</p> <ol style="list-style-type: none"> ①散布時期: 登録でノビエ5葉までの散布となり、遅れずに散布する。 ②除草剤を散布してから(ノビエを抜いて枯れかかっていること確認)5日後を目安に入水する。
5月	イネの生育	<p>出芽</p> <p>葉数: 1.5枚 目標苗立ち数: 30本/m (150本/m²)</p>
5月	入水	<p>★除草剤(3回目): 入水3~5日後を目安に、湛水状態が安定してから除草剤(“直播水稻”に登録のある一発除草剤)を散布する。除草剤の効果を確認するため、漏水対策(畦補修等)はしっかり行っておく。</p>
6月	除草剤散布 (2回目: 5月20日頃)	<p>葉数: 2.0枚</p>
6月	入水	<p>6月30日 草丈 39cm 茎数 670本/m² 葉色 41</p>
7月	水管理	<p>★水管理: 常時深水湛水。 ・作溝、中干しは不要。 ・深水により、茎数過剰、ヒエ等の雑草の発生を抑制。</p>
7月	病害虫防除 (必要に応じて)	<p>★病害虫防除: 通常の防除と同じ。 ※播種・施肥の重複部分の「いもち病」や「イネツトムシ」等の害虫の発生に注意!</p>
8月	追肥・穂肥を施用 病害虫防除	<p>★出穂は、移植栽培に比べ7~10日遅くなる。 (出穂期(はえぬき・ひとめぼれ): 8月10~15日頃)</p>
9月	落水	<p>★落水は、移植栽培に比べ7~10日遅くなる。 (出穂期(はえぬき・ひとめぼれ): 8月10~15日頃)</p>
10月	収穫	<p>★収穫期(はえぬき・ひとめぼれ): 10月10日頃~</p> <p>★収量: 湛水直播並。苗立ち率が安定している分、収量は安定している。</p>



目標
 収量: 580kg/10a
 品質: 1等米(整粒80%)
 食味: (玄米タンパク含有率) 7.0%以下